



株式会社 RoZuTo
専務取締役 岸本 大樹

16歳から運送業に携わり、軽貨物配送の現場経験は20年以上。豊富な実務ノウハウを活かし、(株)RoZuToの専務として現場指揮と教育を担当する。仕事においては丁寧な配送のみならず服装や言葉遣いにも気を配るよう徹底し、運送業のイメージ向上にも挑戦している。



株式会社 RoZuTo
代表取締役 岸本 生

夫の大樹氏と共に(株)RoZuToを設立し、代表として経理や事務を主に担当。従業員用の寮や待機所を整備したり、制服や名刺を支給したりと、女性ならではの視点も取り入れながら職場環境の整備に尽力し、誰もが安心して働く運送会社を目指している。

家族のような結束力が仕事の品質を高める 夫婦二人三脚で築く温かい軽貨物運送会社

岐阜県海津市を拠点に軽貨物運送を手がける(株)RoZuTo。岸本生氏と岸本大樹氏が夫婦で築き上げる社風は「従業員を家族のように大切にする」こと。仲間との絆を原動力に、食品から家電まで多彩な配送を行う同社の成長の秘訣にタレントの水野裕子さんが迫った。

経験を積み、新天地で開業

水野 軽貨物運送を手がける(株)RoZuToさん。お二人はご夫婦で経営されているそうですね。まずは運送業で起業された経緯からお聞かせください。

岸本(大) 私たちは以前は大阪に住んでいて、当時はそれぞれ別の仕事をしていました。私は16歳から運送業一筋で歩んでき、いつかは起業したいと思っていたんです。そして梅津へ移住した際に、配達先の方から声を掛けさせていただいたことをきっかけに独立しました。業界歴はもう20年になります。

水野 長年の積み重ねが今の礎になっているんですね。とはいっても、慣れない土地での独立ということで、当初はご苦労も

多かったのではないですか？

岸本(大) それが、自分でも驚くほど順調に成長できました。取引先からの紹介が重なって、次第に仕事の幅が広がっていました。おかげさまで2025年には法人化を果たすこともできましたし、本当にご縁で支えられましたね。

水野 奥様が代表を務め、ご主人が専務として現場を指揮されているのも印象的です。実際にはどのように役割を分担されているのでしょうか？

岸本(生) 夫は主に現場とスタッフの教育を担当し、私は経理や事務を中心に管理全般を行っています。女性代表として、女性のドライバーも安心して働く環境づくりを意識しているんです。

岸本(大) 私はどうしても現場目線に



sample

なりがちなので(笑)、妻の客観的な意見に助けられています。経営判断に女性の感性が加わることで、会社全体がより柔軟になったと感じています。

サービスの質を高めるための環境づくり

水野 では、(株)RoZuToさんの事業内容について詳しく教えてください。

岸本(大) 食品関係の配送を中心に、最近では家電の配送や設置にも力を入れており、法人向けの定期配送から個人宅への配達まで幅広く対応しています。

水野 ジャンルが異なる分、さまざまなノウハウが求められそうです。

岸本(大) その点は、前職で食品と家電の両方を扱っていた経験が生きています。配達の幅が広がればスタッフの成長にもつながりますし、会社としても対応力が増していく実感があります。

岸本(生) 現在は10名以上の従業員が在籍しています。家族のように声を掛け合いながら助け合う、温かい職場です。

水野 まさに「チーム」としての結束を感じます。職場づくりで特に意識していることはありますか？

岸本(生) 何より「従業員を大切にする」ことです。寮や待機所の整備、制服や名刺の支給など、皆が働きやすい環境を整えています。人生の時間を共に過ごす仲間ですから、責任を持ってサポートしたいと思っています。

水野 制服や名刺を用意されているとい

うのは、業務委託を中心の軽貨物業界では珍しい取り組みですよね。

岸本(大) この業界は個人事業主が多く、どうしてもラフな印象を持たれがちです。だからこそ、私たちは「サービス業」としての誇りを大切にしています。服装や言葉遣い、立ち居振る舞いも含め、お客様の信頼を預かる仕事だという意識を持って日々の業務に臨んでいるんです。

岸本(生) また、当社では毎月、幹部会議を開いて会社の目標や課題を共有しています。時には取引先の方にもご参加いただき、外部の視点からアドバイスをいただくことも。風通しの良い職場だからこそ、意見が自然と交わされる環境が保てているのだと思います。

水野 全員が主体的に発言できる環境があるのは、組織として理想的な形ですね。

岸本(大) はい。誰かの指示を待つのではなく、自分で考えて行動できる人材を育てるのが当社の方針です。自発的に動けるチームほど、トラブルも減り、良い仕事ができると信じています。

Guest Comment>>

水野 裕子(タレント)

岸本ご夫妻のお話をうかがい、スタッフさん一人ひとりを家族のように思う温かい気持ちが、会社全体の力になっていることを強く感じました。お二人の言葉の端々から、仲間を信頼し、共に成長していく姿勢がじみ出ています。絆を原動力に未来を切り拓く(株)RoZuToさんが、今後も運送業界に新風を吹き込んでいくことを心から期待しています。



sample

Company Data>>



株式会社 RoZuTo

〒 503-0628

岐阜県海津市海津町福江字上組 293

URL <https://rozuto.com/>

仲間との絆が会社を育てる力に

水野 スタッフの中には、将来的に独立を目指す方もいらっしゃると思います。その場合、どのようにサポートされているのでしょうか？

岸本(大) 「もっと稼ぎたい」「新しい挑戦がしたい」という気持ちは大歓迎です。本人の成長につながるなら応援したいと思っています。同業へ行くことにならぬ、業界全体が良くなるならそれで良いんです。もっとも、我が家に遊びに来る従業員たちに「会社に不満はないの？」と聞いても、みんなゲームをしながら「ないですよ」と笑って答えてくれますけれど(笑)。

水野 その frankな関係性が、お二人と従業員の方々との絆の強さを表している気がします。この先もどんどん仲間が増えていくことと思いますが、会社としての将来のビジョンについて語っていただけますか？

岸本(大) 3年内に一般貨物の分野へ進出したいと考えています。大型トラックの導入など新たな投資が必要になりますが、今の仲間たちとなら必ず実現できると思うので、段階を踏みながら次のステージへ挑戦していきたいですね。「量より質」を重んじ、共に働く従業員の力を最大限に引き出せる環境をつくり続けていければと思います。

岸本(生) これまで支えてくださった皆さまのおかげで今があります。これからも仲間と絆を深めながら、一歩ずつ成長を重ねてまいります。